

## Amir Tsarfati 氏 A Word from Amir 2018年3月17日公開 アミールより一言

皆さん、シャローム！アミール・ツアルファティです。（書記注：日本時間2018年3月17日21:10～）スイスのサンガレンより、フェイスブックライブを行なっています。予定はなかったのですが、ただ、今日は特別な日なので、ライブすることにしました。今日（3月17日）は、ユダヤ人のヘブル暦では新年第一日目です。多くの方が、それを知らないと思います。ユダヤ人も、非ユダヤ人も、全く別の日を新年として祝いますからね。ユダヤ人は残念ながら、農業の暦に従って、第7の月、ティシュリーを新年として祝っています。しかし、出エジプト記12章には、実に明確に書かれています。神の中では、年の第一の月はニサンの月で、今日は第一の月、ニサンの第一日目です。といっても、神は新年を祝うことには興味はなく、第一の月の第一日目を祝いなさい、とは、聖書のどこにもありません。ただ、神が、この日この月を第一と定めたのは、神が私たちに何かを伝えようとしているため、それが非常に重要だと思うのです。私たちがこれから祝う月は、出エジプト記で、奴隷であった地、束縛の地、暗闇の地エジプトから、自立、独立、約束の地、彼の驚くべき光の中へと導き出された月、これこそ、人と神との間で、私たちが祝う暦であることを、神は願っておられるのです。もちろん、神が人に対して何かを前進させる時は、イスラエルが先でした。聖書には、ユダヤ人を初め、と書かれています。ユダヤ人だけ、とは書かれておらず、「まず、ユダヤ人」です。神が進める時には順番があって、それは何もユダヤ人が優れているからとか、劣っているためというわけではありません。ただ、神はご自身を現わすために、ある民を選ばれた、というだけで、彼らを通して、ご自身を全世界に表明されるのです。ですから、神がイスラエルに定められた事の全てが、異なる様々な方法や形で、他の全世界にも適用されるのが、非常に興味深いと思っております。今日からちょうど14日目、第一の月の第14日目の夜は、イスラエル人が過ぎ越しの小羊をほふらなければならない日で、10日目にそれを家に入れて、傷がないか4日間調べ、そして、14日目に殺します。私が非常に面白いと思ったのは、出エジプト記で、奴隷から自由になったのが第一の月で、初穂の祭りは、イエスのよみがえり、主の復活を予見しています。聖書には、イエスが眠った者の初穂である、と書かれていますから（書記注：第一コリント15:20参照。）。私たちに覚えていて欲しい、と神が願っておられること、私たちが神と生きる人生を始めて欲しい、と神が願っておられるのは、私たちの救いは唯一、過ぎ越しの小羊によって贖われた事によってのみ与えられるのだ、ということです。聖書には、キリストが、私たちの過ぎ越しの小羊が、すでにほふられた、とあり、それから聖書にはまた、キリストは眠った者の初穂である、とも書かれています。ですから、私たちの救いのための代価が支払われただけでなく、今や私たちに、彼のよみがえりの力もあるのです。そして、よみがえりを通して、私たちは、死んだ者ではなく、生ける神を礼拝していると言えるのです。ですから、私たちが主との歩み始めるにあたって、私たちに依り頼めるものが二つあります。

- ① ただ傷のない小羊の血よりも、はるかに尊い、完璧な神の小羊の血潮によって、私たちの罪は贖われた。
- ② それから、彼が死からよみがえられた、という事実により、私たちは依り頼めることができます。それによって、たとえ私たちがまだこの肉体にあっても、死が私たちに支配することも、縛ることもありません。だから聖書は、信仰を持って死んだ者は、実際には死んだのではなく、ただ眠っているだけだ、と告げているのです。テサロニケの人たちは、非常に心配したのです。パウロは、死が私たちに占領することはない、といつも告げていたのに、教会の人たちが老衰などで自然に死に始めたからです。聖書はそれを「第一の死」と呼び、人は一度死ぬことが定められている、とあります。ですから、自然死は訪れます。しかしキリストが、私

たちを死の呪いから解放してくださったのです。そこで、テサロニケの人々が思っていたのは、  
「もし私たちが死ぬなら、どうして主に取り去っていただけるのだろうか？ 私たちはみな、取り去られるのだと思っていたのに。」

そこでパウロは、第一テサロニケ4章で、「心配するな」と書いたのです。「望みのない人になるな」と。キリストにあって眠った人々が、まず初めによみがえり、そして生きている私たちは合流して、空中で主とお会いする。そうして、いつまでも主とともにいる、再び主から離れることは決してないのだ、と。

ですから、どうか皆さん、元気を出してください。今、私はサンガレンにいますが、スイスの美しい町で、あと5時間ほどしてから、講演する予定です。今日、私が語るメッセージは、第一テサロニケ5章と、ローマ書13章からで、「眠った人たちにに関して」です。私たちは、信者として、他の人たちのように眠るな、と警告されています。第一テサロニケ5章でパウロが語っている「眠り」とは、第一テサロニケ4章で彼が伝えている「眠り」とは違います。第一テサロニケ4章の「眠った人たち」というのは、当然キリストにあって死んだ人たちで、イエスを信じて死んだ人たち、彼らは死んだのではなく、ただ眠っているだけです。しかし、5章で彼が私たちに警告しているのは、他の人たちのように眠るな、ということで、眠っている人たちの事は、第一テサロニケ5章では「彼ら（人々）」、それから「私たち」です。

「彼ら」→未信者、異教徒

「私たち」→信者

です。「私たち」は眠らない、と。別の言い方をすれば、第一テサロニケ5章の眠りとは、霊的な眠り、霊的な盲目、霊的な暗闇を指していて、それについて私たちに警告が与えられているのです。聖書の中には、何度も何度も、暗闇を歩いている人が大なる光を見る、という約束が、イザヤ書の中で書かれています。そして確かに、イエスが来られた時に、彼らはそれを見ました。聖書には、ヨハネ1:5に次のように書かれています。

5 光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。

(ヨハネ1:5)

これを私たちは覚えておかなければなりません。また、第一ヨハネ1:5

5 神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。これが、私たちがキリストから聞いて、あなたがたに伝える知らせです。

(第一ヨハネ1:5)

それから、使徒の働き26:18にはこうあります。

18 それは彼らの目を開いて、暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、わたしを信じる信仰によって、彼らに罪の赦しを得させ、聖なるものとされた人々の中であって御国を受け継がせるためである。」

(使徒の働き26:18)

エペソ5:8にはこうあります。

8 あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、主であって、光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。

(エペソ 5:8)

だから私たちはこれを覚えておかなければなりません。そして、パウロが皆に警告した理由ですが、彼はこう言っています。

- 1 兄弟たち。それらがいつなのか、またどういう時かについては、あなたがたは私たちに書いてもらう必要がありません。
- 2 …あなたがた自身がよく承知しているからです。

(第一テサロニケ 5:1~2)

つまり、あなたがたの周辺のすべてのものが、今が、終わりの時であることを告げている、ということです。特に、終わりの今は、私たちの周辺の全てのものが、神は、今にも、イエスの時以来、最も大きな事をしようとされている、と大声で叫んでいます。教会の携挙です。私たちは、何があっても眠ってはいけません。それだけはしないように、私たちは気をつけなければなりません。サタンのすることの一つは、人々を眠らせることです。彼は、ニュースやメディア、インターネットから、ワケの分からない事を大量に吹き込み、人々を眠らせるのです。そして人々は、様々なことを語り、神が行なわれている、最も重要なことを逃してしまいます。だから、神は全世界の目を引こうとされているのだ、と私は思っています。聖書には、最後のラッパで私たちはここを出て行く、と書かれています。主が「最後のラッパ」という言葉を使われたのは、神は、世の目を引くために、何度もラッパを鳴らしておられるためです。いくらかの人はそれに気づきますが、ほとんどの人がそれに気づきません。私は今、スイスにいますが、とても美しい所です。ここで今夜お話しします。ドイツや、オーストリア、スイスから人々がいっぱい集まって来ていて、素晴らしいものとなるでしょう。そして、メッセージは「他の人々のように眠ってはいけない」。ローマ書 13 章にはこうあります。

## 12 夜はふけて、昼が近づきました。

(ローマ 13:12a)

ですから、この聖書の暦の年頭第一日目に、私から皆さんにお伝えしたいのです。今年は物凄い一年になる気がしています。信者にとっては、素晴らしい希望の年、そして未信者にとっては、とんでもない年になるでしょう。この地球が揺さぶられる年になると思います。それから今年、一年の初めに皆さんにお伝えします。準備をしてください。

他の人々のように、眠ってはいけません。

夜はふけて、昼が近づきました。だから、神の次の大きな動きに対して、私たちは備えが出来ていなければなりません。皆さん、私はこれまでの人生の中で、今ほど近づいていると感じたことはありません。私たちがここを出て行く日が、非常に近いと感じています。私たちが生きている間にそれが起こる、という希望をこれほど強く感じた事はありません。私は強くそう思っています。私たちが今見ているものを、パウロにも見て欲しかったですね。テサロニケの人たち、皆に見せたかったですね。彼らは、周りの人たちが次々と死に始めた時、自分たちは携挙を逃してしまったのではないかと、非常に心配していたのです。彼らが今生きていて、私たちが見ているものを、彼らも見ることが出来たら、どんなに良かったらと思います。私たちが理解していることを、彼らも理解していたら、と思います。皆さん、神は私たちに、神の御言葉を与えてくださったのです。それから彼は、私たちが神の御言葉を広めるために、ソーシャルメディアを与えてくださいました。私は長年、ソーシャルメディアには反対していたのです。しかしその後、もし教会がインターネットを無視するなら、敵

がそれを占領する、ということに気付いたのです。そしてまさに、ポルノやその他、非常に多くの部分で、敵はそれを行いました。しかし、皆さんにお伝えします。ソーシャルメディアが私たちの目の前にあって、私たちも、これまでになかったほどに、神の御言葉を広めるために、それを利用できるのです。

今までになかったほどに。

皆さんがすべきことはただ、「シェア」という名の青いボタンを一回クリックするだけです。今や、それで何千人という人々が、メッセージを見るのです。これは10年前までは、出来なかったことです。ですので、今日、皆さん全員に対する私のメッセージ、勧告は、これは、私だけの新年ではなく、皆さんにとっても新年であることを、皆さんが理解されていることを願いますが、聖書を信じる人全員にとって、今日は新年の始まりです。皆さん、全員にとってですよ。これは、ユダヤ暦ではありません。神は、イスラエルのために暦を定められましたが、しかし、それは全地球の救いの描写であって、全世界のためです。ですから、あなたにも当てはまります。今日、あなたもお友達に

「新年明けましておめでとう」

と言うべきです。そして彼らが、

「何を言っているんだ？」

と言えば、出エジプト記12章にある、本当の第一の月、ニサンの月について彼らに教えるのです。今日が、元日です。神は、私たちが新年の始まりに、自分たちの救い、贖い、そして、私たちが持っている永遠のいのちを祝うことを願っておられます。イエスが、死からよみがえられたためにです。私たちの罪が赦されただけでなく、私たちには、彼のよみがえりの力があるのです。ですからお願いします。

皆さんのお友達全員、皆さんの知り合い全員、皆さんのご家族全員に、この言葉を拡散してください。今日、「明けましておめでとう」と伝えて、その理由を伝えてください。

世界中で、物事が白熱しています。

ロシアは、イギリスでの毒物による暗殺未遂のために、どんどん孤立していて、他のヨーロッパでは、ヨーロッパ人がロシアを非難しています。

シリアでも、物事が白熱しています。ほんの数分前に、さらに30人の市民が、ダマスカス郊外の東ゲータで、戦火から逃れようとして、死亡しました。

イランは、核兵器への道をまた逆戻りする、と脅しています。

アメリカ合衆国の大統領ドナルド・トランプは、5月に核合意から完全に退くことを考えています。それによって、ロシア、イラン、トルコは完全に孤立し、それまでです。彼らは悪事を始めるでしょう。

非常に、物凄く興味深い一年になります。5月から始まって、物凄く興味深い一年になります。しっかりシートベルトを締めて、覚悟してください。つまり、私が言いたいのは、一年の始まりの年に、恐れたり、震えたり、パニックに陥ることなく、私たちの救いを握りしめ、私たちの贖いを握りしめて、それから、私たちにはよみがえりの力による権威があることを理解して、御言葉を伝えましょう。聖書には、第一ペテロ2:9に、私たちが救われた理由が書かれています。

9 …それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

(第一ペテロ2:9b)

皆さんが彼らに伝えなければなりません。宣べ伝えなければなりません。皆さんが、知らせなければなりません。やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方の素晴らしい御業を、あなたがたは宣べ伝えなければなりません。それをしなければなりません。時にそれは「シェア」という名のボタンを一回クリックするだけ。以上です。ご家族に、お友達に、希望があること、その希望はイエスの中にあること、イエスの他には希望はなく、イエス以外に道はない、イエス以外に他にいのちはないことを伝えてください。まだ間に合います。しかし、もしかしたら今年でさえ、もう手遅れになるかも知れません。ですから、御言葉を広めてください。これは超重要な事です。

今日（3月17日）は、聖書の新年第一日、明けましておめでとうございます！

私も、新年第一日目の、この機会を利用して、世界に伝えたいと思います。

「これまでだ」

と。これが最後の年になるかも知れません。最後の月になるかも知れません。私には分かりません。私は、預言者ではありませんから。日にち、時間を数えるのは、私の仕事ではありません。私の仕事は、私をやみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方について、世に伝えることです。今夜、私はヨーロッパの人々に伝えます。この国と、ヨーロッパの他の部分も、物凄い闇に包まれています。私たちが責任を持って、自分たちのすべきことを行なった時、神は素晴らしいことをしてくださる、と私は信じています。ですから、どうぞ御言葉を広めてください。超重要事項です。

来週、フェイスブックライブでQ&Aを行ないます。時と季節が差し迫っているのを、私は感じていて、多くの人がたくさんの疑問を抱えていると思います。フェイスブックやウェブサイトで、来週のイベントを調べてください。確か、22日の木曜日だったと思います。フェイスブックライブで、Q&Aのみを行います。皆さんが、オンライン上でライブで質問、私がそれに答えます。出来る限り多くの方と、メッセージをシェアできることを、楽しみにしています。

ありがとうございました。スイスのサンガレンより、God bless you!

とても美しい町です。私のインスタグラム「beholdisrael」をフォローして、美しい写真をご覧ください。イスラエルツアーだけでなく、私が講演で訪れる世界各地の写真です。スイスからも、既に4枚ほどの写真を投稿しています。

皆さん、ありがとうございます。スイスより、God bless you!月曜日に帰宅し、2~3週間家にいて、それからトルコ、ギリシャへと向かいます。そこで、新しいプロジェクト「Bible Land Unveiled(聖書の地アンベールド)」を撮影します。基本的には、複数の異なる聖書の地で、聖書を教えます。今回は、トルコとギリシャから始めて、次のプロジェクトではヨルダンとエジプト、将来的にはローマ、キプロス、マルタ、その他の場所でも行います。しかしまずは、トルコとギリシャのいくつかの場所から始めます。現地で、その地に関する聖書を教えるのが目的で、あちらで「第一・第二テサロニケ人への手紙」という具合に。ありがとうございます。スイスのサンガレンより、God bless you!

また、お会いしましょう！

---

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>